

冠 セ ッ シ ョ ン

日時

2025年3月23日（日） 13:20～14:10

会場

第3会場

東京大学伊藤国際学術センター
（小島ホール2Fコンファレンスルーム）
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

座長

山浦 健 先生

九州大学大学院医学研究院
外科学講座 麻酔・蘇生学分野 教授

演者

村松 愛 先生

愛知医科大学
麻酔科学講座 助教

安全で快適な帝王切開のために麻酔科医ができること
～ERACに基づいた周産期管理～



- 本セミナーは整理券制ではございません。
- 現地開催のみ。

冠 セ ッ シ ョ ン

安全で快適な帝王切開のために麻酔科医ができること ～ERACに基づいた周産期管理～

ERAC (Enhanced Recovery After Cesarean) はERAS (Enhanced Recovery After Surgery) から派生した、帝王切開における周術期回復強化プロトコルである。ERASは主に消化器外科領域で広まり、多職種が関わるチーム医療として標準化されることで周術期経過の改善に寄与すると報告されている。ERACはその“帝王切開バージョン”であり、安全で快適な帝王切開管理における重要な役割を果たす。そのためにはERACの概念をチーム全体が理解している必要がある。

帝王切開における“安全”とは「確実な手術」、「確実な麻酔」、「緊急事態への対応」であると考えている。これには多職種によるチーム医療が不可欠である。当院では「帝王切開麻酔マニュアル」を作成し、麻酔の標準化を行なっている。Grade A帝王切開は症例が少ないため「Grade A帝王切開マニュアル」を作成し、チームで共有した上でシミュレーションを行なっている。

帝王切開における“快適”とは、周術期に不安が和らいでいる上で、「マルチモーダルな鎮痛」、「マルチモーダルなPONV対策」、「シバリング対策」がなされていることであると考え。 「マルチモーダルな鎮痛」には、複数の鎮痛剤の使用に加えて、オピオイドの脊髄管麻酔での使用、モルヒネ非使用時の神経ブロック施行が挙げられる。「マルチモーダルなPONV対策」には複数の予防的な介入に加えて、低血圧の予防、術操作など多岐にわたる。このためには帝王切開における悪心嘔吐の発生機序について知る必要がある。

また周産期における麻酔科医の参画として末梢確保困難患者の「PICC挿入」や、重症周産期患者の集中治療管理を積極的に行なっている。今回は、安全で快適な帝王切開のために麻酔科医ができることと題して、ERACと当院での取り組みについて紹介する

